

# 令和5年度 第1回高田区地域協議会 次 第

(会 議) 日時：令和5年4月24日(月)午後6時30分  
会場：福祉交流プラザ 第1会議室

- 1 開会
  
- 2 議題等の確認
  
- 3 報告  
(1) 令和4年度地域活動支援事業の完了について
  
- 4 議題  
(1) 地域活性化の方向性について  
(2) 令和5年度地域協議会の活動計画について
  
- 5 事務連絡
  
- 6 閉会

【次回全体会 5月22日(月)午後6時30分～：福祉交流プラザ】

【次々回全体会 6月19日(月)午後6時30分～：福祉交流プラザ】

令和4年度 高田区 地域活動支援事業一覧【実績報告】

当日配布資料No.1

(単位：千円)

整理 No.	提案団体名	事業名	事業概要 (採択時)	採択額		実績	
				総事業費	補助金 交付決定額	総事業費	補助金 交付決定額
1	小川未明研究会	小川未明生誕の地を活かした ふるさと・人・まちづくり推進事業	郷土の偉人、小川未明の生誕の地を活かすことを通じて、その精神を顕彰し、人づくりやまちの活性化を図るため、生誕祭の開催、作文コンクール、詩碑の設置等を行う。	899	800	919	757
2	南本町小学校区まちづくり協議会	地域のまちづくりとマップ作成事業	南本町小学校区内の町内会の交流を促進し、地域の歴史やお宝を次世代に伝えるため、まちめぐりマップの作成、地域のお宝散策会、学校区名所めぐり案内看板の設置を行う。	656	600	659	600
3	青田川を愛する会	青田川桜木整備と環境啓発事業	青田川の愛護を通じた地域活性化や景観整備を図るため、青田川環境啓発ポスターの作成、青田川灯りロードの開催、桜並木の整備を行う。	997	776	844	776
4	市老連12ブロック連絡協議会	グランドゴルフの普及による 地域活性化事業	高齢者の健康増進と地域活動の活性化に資するため、グランドゴルフ用具を購入し、練習、大会で使用するとともに、地区内で希望団体に貸与し活用を図る。	145	140	142	140
5	南三世代交流プラザ運営協議会	三世代交流のまちづくりを発信する 事業	世代間交流を通じた地域活性化を目的に、地元小学校、消防団等と連携して「三世代ふれあいフェスティバル」を行うとともに、「健康づくり・軽体操と講話会」「三世代クリスマスのつどい」を行う。	534	494	506	494
6	南本町三丁目まちづくり協議会	雁木の景観保全事業	雁木通りの魅力あるまちづくりを図るため、地域の活動団体との交流を通じて「雁木の景観保全フォーラム」を開催するとともに、高校生等と連携して「雁木の格子戸づくりと雁木の色塗り作業」を実施する。	301	298	299	298
7	誰でも集える場所 じくの家	各年齢層のつながりができるように 取り組む交流促進事業	人と人とのつながりを作り、いろいろなことに悩む人や孤独を感じる人をなくすることを目的に、誰でも集える会話の場（じくの家）でお茶の間事業、プチ農業体験活動、相談活動、子どもの遊びの場と学びの場の提供を行う。	357	357	273	266
8	高田城復元ネットワーク	見る・知る・伝える「甦れ高田城」 郷土史家 植木宏氏と巡る外堀・外 郭堀・百間堀を紹介する動画発信事 業	高田城の素晴らしさを市民が再認識し、高田城や高田城址公園が更に多くの人から愛され、高田区の活性化を図るため、郷土史家の植木宏氏と外堀・外郭堀・百間堀を市民参加で現地見学するとともに、その動画を作成して発表会や配信等を行う。	888	791	844	791
9	6人の会	「原本賢治遺作展（菩提寺光樹寺と 大蔵寺）」事業	地域の芸術、高田寺町の歴史文化に触れる機会をつくり、歴史文化への理解や観光振興に資するため、上越地域の芸術家である原本賢治画伯の遺作展を菩提寺光樹寺と大蔵寺で開催するとともに、画集を作成する。	800	800	800	800
10	松平忠輝公と五郎八姫の会	松平忠輝公と五郎八姫の会事業	歴史・文化の保存・活用に役立たせ、地域の魅力を高め、観光振興や元気なまちづくりの推進に寄与するため、高田の基礎を築いた松平忠輝公と五郎八姫の功績について、パネル展示、紙芝居、現地学習会、冊子作成等を行う。	626	612	623	612

整理 No.	提案団体名	事業名	事業概要 (採択時)	採択額		実績	
				総事業費	補助金 交付決定額	総事業費	補助金 交付決定額
11	CAP・じょうえつ	地域で「あんしん」子どもへの暴力防止事業	子どもへの暴力防止を図り、全ての子ども達が安心して過ごせる社会の実現に向け、市民参加によるワークショップ、講演会、朝市やイベント会場等における人権啓発活動を行う。	528	423	577	423
12	ちりつも観光プロジェクト	ハガキを使って、高田区の魅力・観光情報を、一人ひとりが心を込めて情報発信！事業	観光振興、高田市街地の活性化等を目的に、高田区のイベントを紹介したハガキを夏、秋、冬、春に作成して配布するとともに、高田区の魅力・観光情報を県内市町村観光局あてにハガキで投函、SNSを活用した情報発信を行う。	539	484	539	484
13	上越美術協会	第39回上越美術協会展及び会場における”音楽会”と”まちなか美術館”事業	上越地域の美術文化の振興、高田市街地の活性化を目的に、ミューゼ雪小町において上越美術協会展、音楽会を開催するとともに、本町通り商店街を中心に希望の作品を貸し出す「まちなか美術館」を実施する。	330	85	330	85
14	浄興寺大門通りまちづくり協議会	通年観光来街者の為の「浄興寺大門通り磨き上げ」事業	通年観光と来街者への働きかけを強めるとともに、地域住民の交流を図るため、裏寺町通りから大町通りまで東西に貫通している浄興寺大門通りを、住民参加により綺麗にする。	127	17	14	14
15	上越水墨画フェスティバル実行委員会	第1回新潟県水墨画フェスティバルの開催事業	水墨画の展示を通じた高田区の賑わいの創出や観光振興を図るため、ミューゼ雪小町において県内の公募作品、水墨画作家の作品、小学生の作品による「第1回新潟県水墨画フェスティバル」を開催する。	905	574	881	574
16	高田区北部振興会	北部地域の文化・賑わいを創出する事業	市民の芸術文化に寄与し、高田区北部地域の活性化、地域づくりを図るため、「紅葉まつり」において紅葉のライトアップによる景観を創出するとともに、地域の演奏家による野外演奏会を開催する。	902	640	903	640
17	越後高田・雁木ねっとわーく	風鈴街道in雁木2022事業	雁木を歴史的文化遺産として認識してもらい、歴史景観を後世に残していくための機運の醸成を図るとともに、観光振興に役立てるため、雁木の軒先への風鈴の飾りつけや行灯の掲出、雁木の魅力写真コンテスト、マップ付き雁木のまち歩き冊子の作成等を行う。	1,117	947	1,034	879
18	NPO法人かたばみの家	高田区地域だれでも居場所づくり事業	世代、性別、障害の有無を超えて誰でも集える居場所を創作活動を通じてつくり、一人一人が生き生きとした活気あるまちをつくるため、ゆる〜く創作倶楽部、創作活動講座、健康講座を開催する。	323	269	253	205
19	まちやdeマルシェ実行委員会	「雁木のかぼちゃ物語」継承事業	高田に古くから伝わる「雁木のかぼちゃ物語」を後世に伝え、地域の誇りとするため、「雁木のかぼちゃ物語」に関する動画やパンフレットを作製し、動画完成記念上映会を開催する。	648	598	648	598
20	NPO法人高田瞽女の文化を保存・発信する会	高田瞽女の文化の保存・発信事業	高田瞽女の文化を全国に発信し、高田区の交流人口の増加、地域の誇り醸成、持続可能なまちづくりを図るため、瞽女ミュージアム高田を拠点に講演会、対談、瞽女唄演奏会、瞽女の門付け再現等を行う。	255	204	225	204

(単位：千円)

整理 No.	提案団体名	事業名	事業概要 (採択時)	採択額		実績	
				総事業費	補助金 交付決定額	総事業費	補助金 交付決定額
21	NPO法人街なか映画館再生委員会	高田小町広場賑わい事業	高田小町広場を中心に街なかの賑わいを取り戻し、街を元気にすることを目的に、高田小町広場においてキッチンカー倶楽部、夏の野外上映会、夏の夜の野外演劇、鏡映世界館、世界のフリーマーケット、冬の雪像ライトアップ等を行う。	276	270	135	130
22	お馬出しプロジェクト	お馬出しプロジェクト事業	城下町高田に残る歴史ある地名や行事等を大切にし、次世代に伝え、賑わいの創出とまちの活性化に繋げることを目的に、学びと交流の場となる「お馬出し塾」「ふる里の唄と中山晋平童謡集コンサート」「忠輝公といろは姫の城下町散歩in城下町高田百年商店街」を実施する。	321	256	309	256
23	特定非営利活動法人街なみFocus	地域資源を活かした高田まちづくり事業	地域の活性化を図り、交流人口の増加、歴史文化の保全、景観保全を推進するため、地域住民の参加による「手作り街なみ保全事業」「街なみ景観保全の啓発」を行う。	489	390	385	385
24	春日町に根付く謙信公研究	春日町に残る御旗保存伝承事業	地域に残る上杉謙信より賜った御旗こと「俱利伽羅不動尊御旗」を中心に地域の良さを再認識するとともに次世代へ継承するため、御旗の研究・勉強会、研究成果経過発表、研究結果発表会、御旗が春日町へ伝わる起源の再現行事を行う。	309	308	188	188
計				13,272	11,133	12,330	10,599

「地域活性化の方向性」の作成に向けた高田区地域協議会学習会（R5.4.17 開催）

1 商店街の事業主の皆様からいただいた意見一覧 ～口頭説明からの要旨～

<p style="text-align: center;"><b>事業主 A</b></p> <p>◆高田区の課題 高齢化や人口減少、空き家問題などの一般的な課題に加え、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化の成功例には必ずけん引役のリーダーがいるもの。会議だけ重ねても意味がない。</li> <li>・例えば、上越産米が高い評価を受けたなど単発のニュースとして取り上げられても、それを活かした次の展開がない。継続的・戦略的に地域のPRに生かす必要がある。</li> <li>・イベント開催に係る制約が多く開催に消極的になっている。イベントが人を育て、人との関係性が育むもの。</li> </ul> <p>◆課題を踏まえた活性化に向けて取り組んでいること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内活動への協力、町の活性化事業への協力：一員として意見を言うこと</li> <li>・同業者との連携：個人の声は小さくても、まとまれば行政も製造業者も耳を貸すようになる。</li> <li>・異業種との連携：違ったものが見えてくるのではないか。</li> </ul> <p>◆今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクワク歩きたくなる町を目指して</li> <li>・子供が安全な町</li> <li>・100年先を見てほしい：ひ孫まで商売ができる町をつくる。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>事業主 B</b></p> <p>◆高田区の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物の方法の多様化により商店街に出かける意味が失われた。</li> <li>・商店街の活動は「資金・時間・人手が足りない」ことから、商店街の中での協力や理解が得にくい。</li> </ul> <p>◆課題を踏まえた活性化に向けて取り組んでいること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まち歩きを楽しんでいただくために絵看板がある老舗の店内にお宝コーナーを設けた。百年老舗通りの魅力をさらに向上させるため、体験のできる店舗を増やす。</li> <li>・看板商品の開発や体験メニューの開発をさらに進める。</li> <li>・料亭「宇喜世」やトキ鉄「雪月花」のツアー客の受け入れやイベントの開催により、各商店のPRやまちの人々への認知度アップに努めている。</li> </ul> <p>◆今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トキ鉄「雪月花」のツアー受け入れをはじめとしたツアー客の受け入れをさらに進める。</li> <li>・ロッテ新井リゾートのインバウンドスキー客を受け入れに向けたイベントの企画も模索している。</li> </ul> <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本町商店街にある市の施設を活性化に向けて利用しやすく改善を望む。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>事業主 C</b></p> <p>◆高田区の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に開いた営業を行いつつ、地域の課題の影響を受けないように努めてきたことから（高田区の住民を主な顧客層としていない）、特に大きな影響を受けていない。</li> <li>・本町通り北エリアではカフェや居酒屋等の出店が見受けられる一方、シャッター街化が進んでいる。</li> </ul> <p>◆課題を踏まえた活性化に向けて取り組んでいること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定のファン層に向けSNSを通じたダイレクトな情報発信をしている。そのような客層はマイナス要因の影響を受けにくい。</li> </ul> <p>◆今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北部エリアに新しくできたお店と一緒に魅力を発信していきたい。</li> <li>・徒歩で回れる範囲で楽しめるエリアにしていきたい。</li> </ul> <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い客層が増えている。</li> <li>・観桜会や酒まつりでは来客数が増えたことを踏まえ、できれば月に1回程度商店街などで誘客イベントがあれば高田に足を向ける人の底上げにつながると期待する。</li> <li>・観桜会では旅行社などがツアーコースに組み込んでくれたことから来客数が伸びた。ただし、高田は単なる経由地であって高田を目的地とした周遊ツアーへの需要はないという。高田の魅力が伝わっていないのではないか。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>事業主 D</b></p> <p>◆高田区の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中の駐車場料金が高く使いにくい。店側で一部負担する場合、客単価を高く設定する必要が生じビジネスの幅を狭める。</li> <li>・若者向けのお店が少ない。若者にとって魅力的ではない店舗の外観。30～40年先を見据えると若者を呼び込む必要を強く感じる。</li> <li>・店舗や商品の新陳代謝が少ない。空き店舗になっても賃貸や売買に消極的なオーナーが多い。</li> <li>・問題の先送りが見受けられる。</li> </ul> <p>◆課題を踏まえた活性化に向けて取り組んでいること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな人が集えるようコワーキングスペースを運営している。貸出用のスペースのほかに利用者の交流のためのスペースも設けている。東京のIT企業の入居が決まった。利用者はリモート勤務者などの他、高校生にも勉強の用途で利用されている。</li> <li>・若者を積極的に雇用。20代スタッフ5名、アルバイト（大学生5名、高校生1名）</li> </ul> <p>◆今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街はイベントスペースとしても価値がある。過負担にならないように、いろいろな人を巻き込みながらイベントを行っていきたい。</li> <li>・起業支援や若者向けのスキルアップセミナーを開催予定。</li> <li>・小・中・高校生対象の探求心を育てるアフタースクールを開催予定。部活動の民間委託の受け皿となるビジネスチャンスがある。</li> </ul>

## 2 商店街の事業主の皆様の意見に対する質疑応答

質問1	本町商店街には4つのブロック（南本町／本町1・2丁目／本町3～5丁目／本町6・7丁目）がある中で、活性化とは各ブロック、商店街全体のどの単位で進めるものとするか？
事業主 A	商品の販売、特に食品の販売において、「高田」というイメージは重要。個々の店の生き残りは、個々の問題である。
事業主 B	各エリアをつないで回遊性を持たせる必要がある。各エリアがつながった時に街としての魅力が高まる。
事業主 C	未だに「高田市」という人がいるほどのブランド。徒歩圏内エリアでの緩やかな客層の重なりが心地よく、他店からの紹介による来客もある。
事業主 D	町屋を活用したおしゃれな店と連携したい。また、Eバイクや自動運転が普及したら広域でつながれたらよい。ただし、規模が大きくなるとまとまりづらく解決しない問題も出てくる。
質問2	県外や地域外からの来客は、広告やSNS・ホームページによるPRまたは口コミにどのように集客しているか？
事業主 C	SNSの比重が大きい。特定のファンコミュニティにアクセスすると大きな集客につながる。以前、上越地域内からの来客が少ない時期があり、外へ向けた発信を強めた。
質問3	そういったやり方が高田商店街にとってもヒントになると思うが。
事業主 C	商店街のような大きな組織になるとピンポイントの発信ができなくなる恐れがある。個人でやっている雰囲気を受け入れられる。
質問4	どのような状態になったら商店街が「活性化」したと考えるか。
事業主 A	住みたいまちになっているかということ。そこに住んでいたいという人をいかに増やすかということが活性化と思う。
事業主 B	歩いていて、にぎわいがあること。
質問5	地域活性化のために市にやってもらいたいことは。
事業主 A	流通業で代替りは難しいことから、外から入りやすい環境を作るしかない。そのような環境を作るには行政の力が必要。
事業主 B	本町にある市の施設をもう少し活用できるようにしてもらいたい（利用料金など）。また、組織の高齢化や人手不足に対応できるよう事務委託料やアルバイト代も補助対象にしてほしい。
事業主 C	門戸を開き開いて外から人が入りやすくすること。仲間が欲しい。
事業主 D	若者は補助金の使い方が下手な場合が多い。若者がお店を出せるような支援、起業できるような支援を望む。

高田区地域協議会 令和 5(2023)年度の活動計画 (案)  
(4月24日の地域協議会用)

I. 令和 5 年 4 月以降に予定されている活動

1. 「地域活性化の方向性」についての話し合いの継続(9/20、10/17、11/21、12/19、1/23、2/27、4/24、及びそれ以降)。
2. 「地域活性化の方向性」の作成に向けた高田区の商店街事業者等の方々との意見交換・学習会(4/17)。
3. 上記 4/17 の学習会のまとめと次回(6/19 予定)の学習会を含めた進め方についての話し合い(4/24)。
4. 令和 4 年度地域協議会の活動実績と令和 5 年度の活動計画(案)について(4/24)。

II. 次に掲げる活動については、今後、地域協議会で引き続き検討する。

1. 今後実施すべき研修、視察、現地調査などの検討(例えば、防災などについて研修会)。
2. 他の区の地域協議会との意見交換・合同研修などの必要性、形式、実施時期などの検討。
3. 高田区の市民との意見交換の必要性、形式、実施時期などの検討。

**注意:** この計画については、次の点に注意してください。

1. 活動計画(案)は、最新の情報をもとに、協議会の会長・副会長が作成し、協議会に提出しています。委員の意見と協議会における話し合いに基づき、毎月更新します。
2. 活動のうち、既に終了したものと予定日が決まっているものは、月日を示しています。また、会長・副会長が、市の活動の中で高田区の市民の生活に大きな影響を与える可能性があると考えている事項は、予定日を示さずに掲げました。
3. 上記の計画(案)についての質問・意見は、**4月28日(金)**までに南部まちづくりセンター(上越市本町 3-2-26: 雁木通りプラザ内、電話:522-8831/Fax:522-8832、Mail: nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp)まで、**文書**でお寄せください。

**高田区地域協議会 令和 4(2022)年度の活動実績 (案)**  
(令和 5 年 4 月 24 日の地域協議会用)

**令和 4 年 4 月から 5 年 3 月の間に実施された高田区地域協議会の活動**

1. 各区の地域協議会会長と市議会総務常任委員会委員との意見交換会(4/3)。
2. 高田区の地域課題:(ア)高田区の活性化(第 1 分科会)、及び(イ)高田区における災害時の対応(第 2 分科会)を話し合う分科会の開催(4~6 月に開催)。
3. 令和 3 年度地域活動支援事業についての市からの実績報告(4/18 報告)。
4. 金谷地区公民館の移転についての市長からの諮問の審議(5/23)。
5. 地域自治推進プロジェクト及び令和 4 年度の地域協議会の取組等についての市からの説明・報告(5/23)。
6. 令和 4 年度地域活動支援事業の審査結果についての市からの報告(6/6)。
7. 高田区の令和 4 年度地域活動支援事業の採択内定についての報告(6/20)。
8. 金谷地区公民館の移転についての諮問に対する答申についての報告(6/20)及び同答申に対する市からの回答の報告(7/19)。
9. 自主的審議事項 高田区における大雪災害対応についての話し合い(6/20)及び意見書についての報告(7/19)。
10. 高田区の地域課題を話し合う分科会はとりあえず 6 月で休止と決定(6/20)。
11. 令和 4 年度旧北本町ガス供給所地下水水質調査についての市からの報告(7/19)。
12. 今後の自主的審議についての話し合い(7/19)。
13. 地域活動支援事業提案団体との意見交換会(7/30)。
14. 自主的審議事項 「高田区における大雪災害対応についてに係る意見書」に対する市からの回答についての話し合い(8/16)。
15. 市の「『(仮称)地域独自の予算』の概要(案)」についての説明と話し合い(8/16)。
16. 8 月 22 日に開催の地域協議会会長会議についての報告と話し合い(8/22)。
17. 「諮問事項 新市建設計画の変更」についての市の説明と話し合い(9/20)、及びこのことについての諮問に対する答申に係る報告(付帯意見を含む)(10/17)。
18. 「地域活性化の方向性」についての市の説明と話し合い(9/20、10/17)。
19. 「地域活性化の方向性」の作成に向けた高田区在住の市議会議員と地域協議会委員との学習会(11/28)。
20. 上記 11/28 の学習会のまとめと今後の進め方についての話し合い(12/19)。
21. 「地域活性化の方向性」の作成に向けた民生委員と地域包括支援センター担当者との意見交換・学習会(2/20)。
22. 上記 2/20 の学習会のまとめと次回 4/17 の学習会を含めた今後の進め方についての話し合い(2/27)。

(以上)